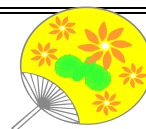


横須賀市立長浦小学校

学校便り

ながうら



8月夏休み号

平成27年(2015年)7月21日(火)

発行 学校長 大西 正康

長浦小学校 学校教育目標

1. 自ら考え工夫する子 2. 思いやりのある子 3. 礼儀正しく元気な子

## 充実した夏休みを

明日からいよいよ夏休み! 8月25日までの35日間です。短くなったとはいえ、それでも長期の休みであることには違いありません。



ふだんなかなかできないことに、ぜひ取り組んでみてほしいと思います。まずは、健康第一・安全第一で過ごしてください。ひと夏を終え、ひと回り大きくなった姿に再会できますことを楽しみにしています。

### 吉倉町町内の皆様へ

吉倉町町内の皆様、初めまして。いつもお世話になっております。今月号より、この『長浦小学校 学校便り ながうら』を吉倉町内会にも回覧させていただきます。お手数をおかけしますが、どうぞよろしく願い申し上げます。吉倉町からの本校児童も少なからず在籍していることもあり、日頃より、加藤孝子吉倉町内会長様が、何かと本校につきましても気にかけてくださり、ご配慮いただきました。誠にありがたく感謝申し上げます。今後とも、旧来からの本校の学区の皆様とも力を合わせながら、本校を見守っていただきますれば、幸いに存じます。

平成27年7月吉日 長浦小学校長 大西 正康

シリーズ できることから始めよう

## その③ 読書と学力(2)

朝日新聞7月8日(水)付けの朝刊の記事よりまとめました。

### <1> 学力向上へのヒント

これからの子どもたちの学力向上のヒントとなるような分析結果を、お茶の水女子大学の耳塚教授らの研究班がまとめています。その研究とは、小学6年生の全国学力調査について、抽出した公立校778校と保護者約4万人への調査結果を分析し、平均成績を大きく上回った上位30校を下位30校と比べてみたところ、子どもが調べたことや考えたことを文章に書かせる指導を「よく行った」かどうかの問いに対して、上位校の53.3%が「よく行った」と答えていて、下位30校をかなり上回っていることがわかりました。

### <2> 『調べたこと』を『書く』

自分が調べたことや考えたことをそのままにせずに、文章等に表すことは、学力向上に結び付くと言えます。この当たり前のようなことをより意識的に行っていくことが、今後必要になってくると思われます。

### <3> 『図書館を使った調べる学習コンクール』の意義

本校の夏の課題一覧表に新たに加わった『図書館を使った調べる学習コンクール』募集要項のねらいの一部には次のように記されています。

図書館を使った調べる学習は、知的好奇心、情報リテラシー、読解力、思考力、言語力が磨かれる学びです。

これは、まさにこれから生きる力となるものと言えらると思います。お配りしたプリントの中に『早わかり!! 図書館を使った調べる学習』というページがあります。①テーマを決めよう ②図書館で調べよう ③もっと調べよう。メモをとろう。 ④書いてまとめよう。このような4ステップで進めていけば良いことがわかります。今までの自由研究とも大きな違いはないように思えますが、ここでは『図書館の図書を活用しよう』というところが必須のものとなってきます。

<身近な疑問や不思議に思うこと、興味があることなど、調べるテーマは自由です。見る聞くなどの体験や、実地調査なども取り入れながら、どのように調べを進めたか、その結果何がわかったかをまとめてください。>

今夏、チャレンジしてみようとする皆さんに期待しています。

## 学校内外日誌

### ① セタ集会（7月3日）

本校恒例のセタ集会。6年生のてきぱきとした立派なリードの下、全学年が力を合わせた素晴らしい集会となりました。3丁目の鈴木常弘様にいただいた笹竹に、子どもたち一人ひとりの願いを込めた短冊を結びました。みんなの気持ちが天に届くといいですね。



### ② 出前授業（7月8日）

4年生の学習で、横須賀造船所150周年に因んだ歴史的な話をさせていただきました。講師は、市内で歴史家として著名な山本詔一さん。本校からもそう遠くない場所の歴史話の数々に、子どもたちも興味深々の様子でした。



### ③ インタビュー活動（7月8日）

3年生の国語の学習で、インタビュー活動があり、子どもたちは校内のいろいろな職員に話を聞いていました。

写真は、事務室の長谷川さんに聞いているところ。みんな礼儀正しく、聞きたいことをきちんと尋ねてとても立派でした。




---

#### 《お知らせ》

- ① 夏休みの期間 7月22日（水）～8月25日（火）＜35日間＞
- ② 授業開始 8月26日（水）＜28日までは、3校時で下校＞
- ③ 給食開始 9月 1日（火）
- ④ 懇談会 9月 4日（金）＝1～5年  
9月25日（金）＝6年（修学旅行説明会含む）

《8月 主な予定》

8日(土) 立秋

・ 1日(土)	・ 長浦5丁目祭礼(～2日)	
・ 3日(月)	・ 長浦5丁目祭礼(～7日)	
・ 9日(日)	・ 安針台納涼祭	・ おやじくじらディキャンプ・
・ 23日(日)	・ PTA草取り	
・ 25日(火)	・ 夏休み終了	
・ 26日(水)	・ 授業再開	
・ 1日(火)	・ 給食再開	

＜熱中症予防＞ 炎天下、帽子は必ず！

校長室より

ー人生のオウンゴールー

オウンゴールで決着のついた女子サッカーの日本対イングランド戦。DFローラ・バセットは、試合終了のホイッスルと共に泣き崩れていた。『後味の悪い試合になってしまったな。』その場面を見て、私はそう思った。しかし、すぐさまチームメイトが駆け寄り、監督も肩を支え、抱えられるようにしてピッチを後にする姿を見て、少し安心した。何とか、立ち直ってほしいものだ。

さて、一生懸命やっているのに、逆の結果となって表れてしまうことがある。人が生きていく上で、時に味わう苦い味だ。言わば、《人生のオウンゴール！》私にも、ある、ある。一発目のそれは、大学に入ってまもなく。現役合格を目指し、青春を犠牲にして、脇目も振らず取り組んだ受験生活。思い通りの結果となったが、良かったのはそこまで。目標を見失い、取り組むべきものがなくなり、糸の切れた凧のように、ふらふらとした毎日となった。新宿の街を徘徊するか、陽のあたらない下宿でタバコを吸いながら、ひたすら<吉行淳之介>の小説を読む退廃した生活。今ならば、さしずめ引きこもり大学生と言われてもおかしくない体たらくに陥った。ずるずると大学6年生まで留年し、様々な可能性を自ら失っていった。

ポイントを絞りきれない苦しさにもがきながらも、何とか出口を見つけたが、充実した大学生活を送るには時すでに遅し。試合序盤にオウンゴールをしてしまい、それを最後まで引きずってしまった試合のようだった。その後、この試合の経験を教訓として生かそうとしたが、残念ながら、自らのゴールに蹴り込む愚を何度も犯している。その都度、『君は、学習能力が足りない！』と、監督(自分)に厳しく叱られているのだが。・・・と、ここまで書いて、横で読んでいた娘に言われた。『何だか、ネガティブだね。』そして、松岡修造のこんな言葉を示された。『反省はしろ！後悔はするな！』